

<p>会報</p> <p>第78号</p>	<p>Mt. Iwaki Conservation Association</p> <p><b>岩木山を考える</b></p>	<p>2019年4月26日発行</p> <p>岩木山を考える会</p> <p>会長 小堀英憲</p>
-----------------------	---	--

## 会長あいさつ

会員の皆様のご協力のおかげで平成三十年度の全行事を無事終了することができました。改めて御礼申し上げます。先日の総会が平成最後の行事となり、5月1日からは新元号「令和」がスタートします。そこで私は令和元年をきっかけに、今までやれなかったことをやってみようと思いました。とは言え大層なことが出来る訳ではありません。

私にでも簡単に出来る夜の岩木山の観察にし、目標を二つ決めました。一つはゲンジボタルを見つけること。もう一つはフクロウの声を聴くことです。ぜひ達成したいです。皆さまも何かにチャレンジしてみませんか？「令和」元年もよろしく申し上げます。

小堀英憲 記

## 2019年度総会報告

4月7日、弘前市民参画センターにおいて2019年度総会が開催されました。

出席者は17名でした。小堀会長の挨拶の後、議長に柄沢氏を選任し、議事次第に沿って2018年度活動のまとめ、2018年度収支決算報告、2019年度活動方針、2019年度予算について議案が提案されました。



質疑応答では、○外国人の方が多くなってきている。英語の看板があればいい。○行政との連携とアピール。○百沢スキー場のそばは動物が多く増えてきた。○若い会員を増やしていくことが必要。○火山活動の学習。○登山道の状況。○クマが増えている。観察会では注意が必要。等の意見報告があり、予定時間を越えた活発な討議がされました。

議事終了後13名の参加で懇親会が行われ、自己紹介、意見等で懇親を深めました。

金枝壽孝 記

## 【会計報告】

・2018年度決算 (円)

収入	前年度繰越金	842,992	支出	事業経費	148,067
	年会費他	125,725		予備費	2,185
	計	968,717		計	150,252

次年度繰越金：968,717 - 150,252 = 818,465 円

・2019年度予算 (円)

収入	前年度繰越金	818,465	支出	事業経費	190,000
	年会費他	64,006		予備費	692,471
	計	882,471		計	882,471

## 【会員の声】

総会案内の返信はがきに寄せられた会員の皆様の声をお届けします。

- ・会報を通して、皆様の御活動をお知らせしていただき、感謝致しております。今後、益々会がご発展されることを願っております。
- ・会報は、毎回楽しみにしています。何も協力できることがなく、遠くから応援するだけですみません。
- ・会報を読んで、参加している気分になっている会員ですが、よろしく願います。
- ・TVなどで岩木山の映像が時々流れる度に懐かしさが込み上げます。会の発展を祈ります。
- ・会報を拝見したり、「私の岩木山」を見せていただくなど、私どもにできることで、会の活動に参加していきたいと考えております。皆様のご活躍を心よりお祈りいたします。

⇒ 普段、なかなかお目にかかれない会員の皆様との交流の場が会報だと思います。日頃、岩木山や自然環境の変化などに関心を持たれている皆様の「想い」もお寄せください。

- ・出来る丈たくさんの観察会に参加するのを楽しみにしております。

⇒ 自然観察会は同じ場所で行っても、毎回新しい発見がありますので、何度でもご参加ください。新しい企画も計画していきます。

- ・会員の皆様方の並々ならぬ努力があつてこそ「美しい岩木山」なのですね。ただ、漫然と眺めていた「岩木山」がより美しく輝いて見えるようになりました。この会の運動が、一般の方々にもひろまり、理解してもらえる方法を探りたいです。

⇒本当にそう思います。少しずつでも岩木山の自然・歴史・そこに暮らす人々の生活に心を寄せる人が増えることを望んでいます。

・岩木山はゴミの山!? ビックリしました。

⇒不法投棄をなくする啓発活動と取り締まりが必要ですね。

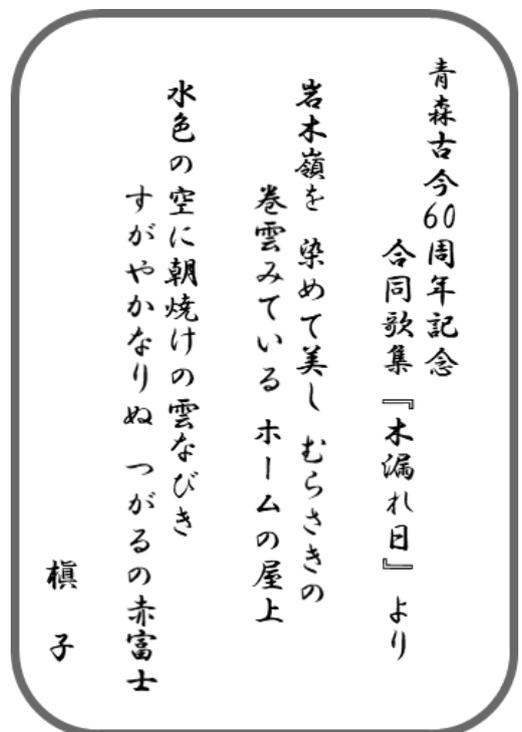
・いつもご案内ありがとうございます。Facebook の更新をよろしく願いいたします!!

⇒適時の更新が出来ず申し訳ありませんでした。講座のお知らせなど、早めにお知らせするよ  
うにいたします。

・「岩木山を考える会」に入会していたのは夫でした。夫は八年前に亡くなりました。でも私は岩木山を仰ぐことが大好きでした。22歳の時に百沢から頂上をめざして御来光を拝みました。百沢・岩木山に咲く花々を愛し、写真展に出かけています。

(会員の八木槇子様よりメッセージと共に岩木山を仰ぎみてお詠みになられた短歌を頂きました。)

“自然を守るためにがんばって下さい”“会の発展をお祈りします”など、励ましのお言葉を多数いただきました。ありがとうございました。これからもご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 第1回岩木山講座 「弥生スキー場跡地観察会」

今年の第1回目講座は、弥生スキー場跡地で行います。この観察会は、弘前市が弥生ネットの支援の下で「親子で自然観察会 in 弥生スキー場接地(弥生の森)」として開催しています。当会も協力しているので、跡地が回復してきている様子を、「生きものさがし」などをしながら一緒に楽しみます。

募集要項は下記の通りです。

日 時：2019年6月23日(日) 10時～12時

募集人員：先着20名

集合場所：弥生いこいの広場駐車場に10時まで  
に集合

持ち物等：長靴・手袋・必要に応じて飲料水

参加費：100円(保険料)

※終了後みんなで豚汁を食べ、観察会を振り返ります。  
(コープあおもりさんが提供。おにぎりはご持参ください)。

申込先：竹浪純(TEL 070-6952-2614)

申込締切日：6月17日(月)

「弥生の森」生きものさがし(2018年夏)

弥生の森に住んでいる生きものをさがしてみよう。見つけたら、口にしてみるさつしよう。

ミミズ



どんなところに住んでいるのかな?

オオバクロモジ



どんなにおいがするかな?

イタヤカエデ



にたような葉っぱもさがしてみよう

ハコネサンショウウオ



何を食べてまきているんだろう

ニホンザリガニ



何を食べてまきているんだろう

ヒトツバイチヤクソウ



どんなところで見つけたかな?

イタドリハムシ



クスサンのまゆ



オトシブミ



2018年に使った「いきものさがし」リーフレット

## 第25回「私の岩木山」写真展を振り返って

2月8～10日の3日間、弘前NHKギャラリーにおいて上記写真展が行われ、154名の来場者がありました。作品の出展者は14名、出品数は68点です。

悪天候の影響もあり、来場者の出足はいいものではありませんでした。展示の写真の前に、当会の会員と来場者が和やかに会話をする様子が当会の「写真展」の意義を物語っていると思います。展示の作品のタイトルを中心に紹介します。

金枝壽孝さんは、住まう田舎館村東光寺からの「秋の落日模様」他3点。うち「岩木山を眺めて一休み」は当会「総会議案書」の表紙を飾っています。他に、登山された「岩木山頂への道」4点。



森山豊さんは「夏(若葉1丁目の畑)」「冬(塩分町より)」を。

青森市在住の尾坂康さんは、海からの岩木山など5点。撮影地は、青森市、むつ市脇野沢、中泊権現崎、深浦町大戸瀬。海からという視点での「岩木山」は写真展を新鮮にしています。

宮本孝紀さんの「三日月と岩木山」「ねふたと岩木山」は、故郷への思いを感じました。

佐藤文猛さんは6点。「湯段の桜街道」「デモ行進」（弘前駅前りんご広場より）「藤の花咲く頃」（藤崎唐糸御前公園より）などが色彩豊かに、また津軽の人々の行動力が伝わって来ました。

中山康司さんの「温もり」（アカシジミ 相馬）は、当写真展後にNHK全国放送で上映された「津軽の自然」にも取り上げられた貴重なものです。

宮川淳さんは、鶴の舞橋からの「廻堰 岩木」など。斉藤真人さんは、岩木山の「山歩き人」らしい作品を5点。「変な池だな？」など。

藤原竹二さんは、赤倉登山道からの「霧氷の岩木山」など5点。

竹浪純さんは、直近の2月2～3日、真冬の弥生登山道からの登頂の記録を刻々と6点。竹浪協子さんは「扇の金目山散歩」として1月25日の冬山ウォークを6点。

花田一雄さんは、岩木山頂からの「夕景と向白神岳」「朝日の影岩木」他。長平湿原の「サワギキョウと岩木山」。「ミチノクコザクラ」「イワウメの群落」「エゾノツガザクラ」は、岩木山に欠かせない花ですね。

工藤健作さんは革秀寺の「カンヒザクラ」「ハス」他。

最後になります。来場者の多くが興味深く魅入ったのは、飛鳥和弘さんの「フクロウ」6点。ひな鳥がエサのネズミを丸のみにするところなど驚きと感動、身近な所での自然の一端を学ぶ機会になりました。

当会が「私の岩木山」写真展をこのように続けてきたこと、今後も継続することの大切さを感じました。

藤原 裕貴子

## 岩木山講座④「春の雪上観察会」平沢周辺

3月23日（土）午前10時から約1時間、20名の参加で行いました。季節が冬へ逆戻りするような日々に、寒さも厳しく、当日も里でも雪の朝。集合場所も20～30センチの積雪。カンジキをつけて、天候の具合を見ながら短時間での安全な観察会を、と心がけました。が、参加者の、冬の岩木山の自然を体験したいという心意気には驚かされ、また刺激になりました。

花田一雄幹事が先導して案内。講師は昆虫に詳しい奈良岡さんです。オニグルミの葉痕は「猿の顔」に見えたり、ウダイカンバの大木は花穂が垂れ下がり春の訪れを告げる。進む方向の平沢の堰堤手前を左折して枯れ木の所へ。「ヤマユガ」が幹にピタッとついていました。奈良岡さんから、小さな「ユスリカ」（幹の近くにいた）について、と合わせてお話を聞きました。そこから帰路へ。

振り返って、今回の集合場所「岩木山総合運動公園駐車場」が分かりにくく、数名の方が一緒に出発出来ず、申し訳ありませんでした。案内の仕方を改善します。

観察会の下見を3月20日（水）暖かい日差しの中、幹事5名で行いました。平沢堰堤の所では「カワガラス」が水浴びしたり、平沢は川底も両側面もコンクリートで固められているのを見たり、沢山のカモシカの足跡を観察出来ました。



藤原 裕貴子

### 参加者感想

雪の轍の道を走り抜け辿り着いた処は、車のタイヤが埋まる程降り積もったままの岩木総合公園駐車場。今日は「岩木山南麓の平沢右岸尾根の木々の葉痕や動物の足跡観察会」ということで、どんな動物の足跡が見られるのか楽しみにしてきたのだけれども、辺り一面新雪が積もっていました。観察会がスタートすると雪も小降りとなり、ほんの少し岩木山が姿を見せ、私達を迎えてくれているかのように見えました。

先頭集団はスノーシューやかんじきの方々、雪のヤブに道を作ってくれたので、長靴で参加した私も快適に雪の山道を歩み進めることができました。間もなく鬼胡桃の木（断面が猿の顔に見える？とか）から松の木（岩木山には沢山生息しているそうです）、枝に大きなトゲが沢山ついているアカシヤの木を観察しているうちに平沢付近へ到着。晴れていれば岩木山が綺麗に望める絶景ポイントを、雪解けの水が流れる沢の水音を聞きながら更に歩みを進めると、この日折り返し地点となっている朽木へ着きました。そこで樹皮で積雪量をおしえていただき、山の雪深さに圧倒されました。また、幹につくられた「ヤマユガ」の幼虫が潜んでいた跡や、雪の上に現れた「ユスリカ」を観察しました。「ユスリカ」は夏の暑い時に孵化すると暑くて死んでしまうから雪解けの頃成虫になる、と観察員の方に教えていただきました。雪の山の中において春の訪れを感じた瞬間でした。帰路は雪が強く降り始めたため、平沢付近絶景ポイントが往路時より雪で視界が悪くなっていました。残念ながら動物の足跡には出会えませんでした。新雪積もる静まり返った岩木山の中に足を踏み入れ、冬の木々の間を縫うように歩き、風に流れる雲や時折枝から落ちる雪を見、沢の水の音を耳にし、岩木山の冬の息吹を感じ心が安らぎました。

駐車場に戻ると出発の頃と同じように雪が小降りになり、またほんの少し岩木山が雲間から見えました。「山の天気は変わりやすい」一時間の間にこの言葉を実感した岩木山に又会いに行きた

いと思いました。

五所川原市 沢田文子 様

## 寄稿①

### 赤倉登山道“26番観音付近”の崩落の危機を訴える

齋藤真人

当地点(標高1300m位)の危険性は当会が以前から指摘してきましたが、現場の登山道は“樹木の根のからみ合い”によってつり橋状となってようやく維持されているように見えます。そしてもし崩落した場合、人を巻き込むという最悪事態も考えられます。特に“高温多湿の列島の夏期の豪雨時”の危険が憂慮されますので、管轄する担当役所(?)の各位はぜひ現場の確認を強く願う次第です。

そして人の歩行振動が崩落の引き金となる可能性もあり、最悪事態は絶対に避けなければなりません。又“無人時に自然崩落してくれれば最善”等の消極思考が小生の頭をちらついたりすることもあります。それは明らかに×印です。繰り返しますが、担当役所においてはぜひ現場確認をして、責任をもって崩落する前の対策を強く訴える次第です。

## 寄稿②

### 本会最大のイベントの小考

齋藤真人

かつて阿部先生は「写真展」を本会最大のイベントと言われました記憶がありますが、確かに3日間という期間、各位の意見交換、有志による「机上出展」「見本展示」等々その通りと思います。

小生は以前からの出展作品をアルバムとして机上展示させていただいていますが、見学者からは素晴らしいとの意見を頂きましたので今後も続けさせていただくつもりです。他の有志の方々も、書籍、資料、アルバム等も大いに机上出展した方が大いにプラスと思われまますので推奨する次第です。

また、本会常連メンバーの他、写真展の常連の諸氏にも、小生としては毎月定例の役員会にも出席いただいて大いに意見交換していただければよりベターなのではと思う次第です。

飛鳥氏の看板製作、青森市の尾坂氏の出展等には厚く感謝と御礼を申し上げます。また、写真展といえば、晩秋の11月下旬に旧岩木町の“あそべる”にて行われる「岩木文化祭」での「岩木山写真展」の方も、同じファンとして見学することをお奨めします。

### \*会員継続と2019年度会費納入のお願い\*

 平素当会の活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。今年度も引き続き、会員

継続とご協力をよろしく願いいたします。

会費は同封の払い込み用紙または最寄りの幹事を介してお納めください。なお、会費納入状況をお知らせする付箋を同封しておりますので、ご確認ください。(2019.4.10.現在)

### \* 幹事募集と幹事会への参加呼びかけ \*

 岩木山を考える会の企画・運営に参加して下さる方を募集しています。まずは、毎月第一火曜日(5月は第二火曜日)に開催している幹事会に顔を出してみませんか?日頃、岩木山についてお気づきのことや考えていることなど、ざっくばらんにお聞かせください。6月までは桜大通り『市民参画センター』で午後6時～。なお、7月以降の会場は未定ですので、事務局までお問い合わせください。

### ※編集後記

春になり雪も解けるとりんご園は剪定枝の片づけ、伐根、接ぎ木等仕事が目白押しで忙しく過ごしています。残念なことにニホンミツバチは越冬に失敗してしまいました。また一からやり直しです。巣箱が吹きさらしで寒すぎたせいか、恐らく女王が早いうちに亡くなったため蜜が三段分ごっそり残っていました。女王蜂と同じフェロモンを出すキンリョウヘンという蘭を購入したので、今年はそれでハチの捕獲を狙います。

さて、我が家の猫は現在オス二匹。猫の世界にもLGBTは普通にあるようで、春になり繁殖期になったのでしょうか?体の大きい先輩猫は鳴き声を上げメスを探しているようです。でも近場にはメスはいないので小さい方のオス猫に交尾のようなことを仕掛けます。首付近に噛みつき交尾のような体制になるわけですが、結局乗っかるだけで特に何が起きるわけでもないの小さい方はただただ迷惑そうにしています。それでいて普段はべったり一緒に寝ていたりするので不思議なものです。人間の世界では「LGBTは不自然」などという言説が一部で存在しますが、猫の世界では普通にあることが人間には普通じゃないというのも逆に不自然な気がします。猫だけでなく調べたところニホンザル、ボノボ、キリン、ゾウ等様々な動物に同性愛は見られるそうです。自然は人間が頭で考えるより曖昧なものなのかも知れませんね。

小倉慎吾 記

会報 「岩木山を考える」第78号(2019年4月26日)発行/岩木山を考える会  
会長 小堀英憲 〒036-8131青森県弘前市千年4-12-15/電話0172-87-1910  
事務局長 竹浪 純/電話070-6952-2614

郵便振込口座番号 02380-0-37914 振込先:岩木山を考える会